

第 8 次

鷹栖町総合振興計画後期計画

— 笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす —

2025-2029



鷹 栖 町

ごあいさつ



令和という新しい時代の幕開けとともに、鷹栖町は町政施行50周年の節目を迎え、令和2年度からは、まちづくりの新たなステージとなる第8次鷹栖町総合振興計画がスタートしました。

計画の策定にあたっては、町民の皆さんとともに創り上げる住民参加のプロセスを、最重点コンセプトとして掲げて取り組みました。他人ごとではない「自分ごと」のまちづくりへと意識を醸成し、町民の皆さんと行政、関係機関とが連携を深めるため、まちづくりセミナーや住民ワークショップなどの開催を重ね、「笑顔 幸せ みんなでつくる あったかす」をキャッチフレーズとした、未来への希望あふれる計画がつけられ、まちづくりを進めています。

一方で、計画がスタートしてすぐ、これまで私たちが経験したことのない大きな時代の変化が生じました。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大です。当たり前の生活が一変し、人と人とのつながり、地域のコミュニティ、日常的な交流までもが制限されました。さらには、ロシアのウクライナ侵攻、急激な物価高騰、自然災害の猛威拡大など、これまで以上に目まぐるしい変化が続いています。

そんな時代の中、鷹栖町が着実にまちづくりの歩みを進めることができたのも、計画で示されている「まちづくりの決意」があったからこそだと感じています。町民一人ひとりがまちづくりを我がごととして捉える「町民の決意」、限られた財源・資源を生かし創意工夫に取り組む「行政の決意」、町民と行政、団体、組織がチームとなる「連携の決意」。改めて、日頃からまちづくりに多くの協力をいただいている皆さまに、感謝申し上げます。

しかしながら、人口減少や少子高齢化、若者の都市圏流出などは止まることなく、本町を取り巻く情勢は厳しさを増すことが予想されます。さらには、急速に進むデジタル技術への対応、ゼロカーボン社会の実現など、新しい時代への対応力も求められています。

計画策定から5年。これまでのまちづくりの成果と課題をふまえ、これからも着実にまちづくりを進めていくために、基本計画の見直しを行い、次のステージとなる『後期計画』がスタートします。これまで述べてきた社会、日常、時代の変化に適応し、新たな発想で挑戦を続ける深化したまちづくりへ。「笑顔 幸せ」があふれるまちを未来へ引き継いでいくために、あったかすなまちを「みんなでつくる」という決意のもと、協働のまちづくりをより一層力強く進めていきます。引き続き、ご理解と協力をお願いいたします。

結びに、後期計画の策定にあたり貴重なご意見やご提言を頂きました町民の皆さま、熱心に議論を頂きました策定委員会をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。

2025（令和7）年3月

鷹栖町長 谷 寿 男

目 次

第1部 序章 01

- 1. 計画策定の意義 02
- 2. 計画の構成 03
- 3. 鷹栖町の現況 04
- 4. 策定方法 08

第2部 基本構想 15

- 1. まちの将来像 16
- 2. まちづくりへの決意 18
- 3. 基本目標 20

第3部 基本計画 23

- 計画の体系 24
- 基本目標1 あらゆる世代が幸せを追求する 人が輝くまち 26
- 基本目標2 あらゆる人の希望に寄り添う 幸せな暮らしを実現するまち 32
- 基本目標3 あらゆる地域資源を活かす 幸せなしごとをつくるまち 37
- 基本目標4 あらゆる安心を未来へとつなぐ 幸せな環境を持続するまち 42
- 基本目標5 あらゆる人が関係して高めあう 幸せな交流があるまち 48
- 参考：将来像達成に向けた施策展開イメージ 53
- 分野横断的に取り組む重点施策 55

資料編 61
